

| | | | |
|-----|----------------------|-------|-------|
| 科目名 | 哲学 A Philosophy A | 科目コード | 10451 |
|-----|----------------------|-------|-------|

| | |
|----------|-------------------------------|
| 学科名・学年 | 全学科・5年（プログラム2年） |
| 担当教員 | 鈴木 覚（一般教育科） |
| 区分・単位数 | 履修単位科目・選択・1単位 |
| 開講時期・時間数 | 前期，30時間【内訳：講義28，演習0，実験0，その他2】 |
| 教科書 | 配布プリント |
| 補助教材 | 配布プリント |
| 参考書 | 授業中に随時指示する． |

【A．科目の概要と関連性】

哲学の基礎的事項や基本文献を取り上げる．哲学的教養を増やし，「哲学すること」の意義を理解する．

関連する科目：法学（前年度履修），社会学（前年度履修），哲学B（後期履修）

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(A)と主体的に関わる．

この科目の到達目標と，成績評価上の重み付け，各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す．

| 到達目標 | 評価の重み | 学習・教育目標との関連 |
|--------------------|-------|-------------|
| 哲学の伝統的な諸問題について理解する | 70% | (a1) |
| 哲学的な文章の読解力を身に付ける | 20% | (a1) |
| 主体的に考える態度を身につける | 10% | (a1) |

【C．履修上の注意】

自分で主体的に考える，というのが哲学的態度である．授業にもこのような態度で臨んでもらいたい．

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する．60点以上を合格とする．

定期試験（70%）【内訳：中間34，期末36】

その他の試験（30%）

レポート（0%）

その他（0%）

【E. 授業計画・内容】

前期

| 回 | 内容 | 備考 |
|----|-------------------------|----------|
| 1 | 科学と哲学（1）／哲学的エッセイを読む（1） | |
| 2 | 科学と哲学（2）／哲学的エッセイを読む（2） | |
| 3 | 科学と哲学（3）／哲学的エッセイを読む（3） | |
| 4 | 科学と哲学（4）／哲学的エッセイを読む（4） | |
| 5 | 科学と哲学（5）／哲学的エッセイを読む（5） | |
| 6 | 科学と哲学（6）／哲学的エッセイを読む（6） | |
| 7 | 中間試験 | 試験時間：50分 |
| 8 | 試験解説と発展授業 | |
| 9 | 存在と認識（1）／哲学的エッセイを読む（7） | |
| 10 | 存在と認識（2）／哲学的エッセイを読む（8） | |
| 11 | 存在と認識（3）／哲学的エッセイを読む（9） | |
| 12 | 存在と認識（4）／哲学的エッセイを読む（10） | |
| 13 | 存在と認識（5）／哲学的エッセイを読む（11） | |
| 14 | 存在と認識（6）／哲学的エッセイを読む（12） | |
| - | 期末試験 | 試験時間：50分 |
| 15 | 試験解説と発展授業 | |